

1982年も 広めよう 深めよう 福祉の輪を

長倉市役所 点字歩道が今月下旬完成

今年も残すところあと一カ月となりました。市では国際障害者年の今年を、市の福祉元年としていろいろな福祉施策に取り組んでまいりました。また、国から障害福祉都市の指定も受け、これらの事業実施にあたっては市民の皆さんから強力なご支援ご協力をいただきました。これからも、皆さんと共に福祉の輪をより一層広め、深めていきたいものです。

市では福祉のまちづくりの施策のひとつとして、先月二十日から点字歩道敷設工事に着手しています。点字歩道板には目の不自由な方たちが安全に歩行できるように、歩道の中央部に三



一部完成した点字歩道(長倉町)

十センチ角のタイルを敷き、進行には四本の直線が、危険の場合にはまるいイボ状がついています。区間は、長倉町から市役所に至る全長九百四十四メートルで

総工費約九百五十万円、今月下旬には完成する予定です。市ではこのほか市役所入り口三カ所に自動ドアを取り付けたのをはじめ、車イス用のトイレを桂城公園の入口と市民体育館男子用トイレに、さらに車イス用の遊歩道を、桂城公園に作る計画も着々と進んでいます。

身障者の方への 更生援護として

身体障害者手帳は身体障害者であることを証明するために交付され、次のような各種制度を利用することができます。

- ▼福祉医療……年齢、身障者手帳の等級により、医療費が無料になります。
- ▼更生医療費の給付……治療をすることにより障害が直ったりまたは軽減することができると認められる場合に給付されます。
- ▼補修費の給付……障害者が日常生活を補うための用具(義手、義足、車イス、補聴器など)の交付、修理を行っています。

明るくたくましい青少年を育てるために

青少年健全育成パネル展を開催

市の青少年育成秋田県民会議が主催する青少年健全育成パネル展が、明るくたくましい青少年を育てるために、をテーマに十月十七日から三日間にわたって中央公民館で開催されました。

パネル展には、五十五年中の補導状況、家出の動機など四十七点の絵や写真、グラフが展示され、青少年の健全育成について、市民みんなが考え、非行を防止しようと訴えています。

少年による非行が毎日のように報道されていますが、五十五年中に補導された刑法犯少年は、県内で八、八〇五人を数え戦後最高の記録となっています。

市では、「環境浄化都市」の広告塔を設置し、行政の立場から有害雑誌や広告業者等に対して自粛の要請などを行うこととしています。

永井 博さん
大館身障者協会盲人部会長

わたしは盲人にとって、一番緊張するのは、道路を歩くときです。車に気を付けるのはもちろんですが、歩道に置かれている自転車、看板、荷物などにぶつからないよう杖に全神経を集中して歩いています。しかし、自転車の飛び出しや、店の日よけなどはわからず衝突することもたびたび。盲人に対する公共施設の整備はまだまだ遅れていると思います。もっと市の中心部に点字歩道等を設置して安心して歩けるようにしてほしいです。

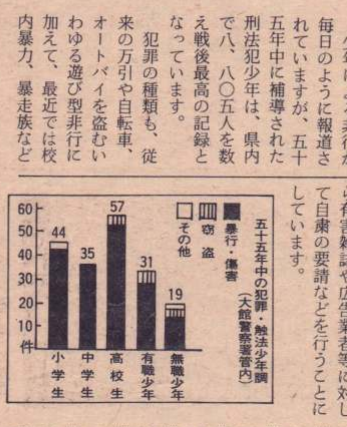
怖い歩道の障害物 障害者に気軽に声をかけよう



乳井 治道さん
大館青年ボランティアたいよう会長

今年、国際障害者年の記念行事が各種行われましたが、もっと身障者同志や身障者と健常者の話し合いの場、ふれあいの場があつてはしなかったですね。ボランティア活動は、何も特別なことではありません。だれにでもできます。障害を自分のことと考え、障害者に気軽に声をかけることです。

地域の運動会やいろいろなスポーツに障害者も参加できるように種目や配慮がほしいですね。



市長のひとこと

No 42

七月を皮切りに十月まで四カ月間四十カ所での対話の集い「市民と語る会」を、十一月には十六団体の方々と「市政懇談会」を開かせていただき、市政に対する市民、団体の意見、ご要望をたくさんお寄せいただきました。

市政の主人公は市民であることは当然でありますから、私は財政、行政の可能性ぎりぎりまで努力を重ね、その実現に努めたいと存じます。それは、とりもなおさず私の主張する市民参加の市政であるからです。

二年続きの冷害、地場産業の不振など苦しい経済事情に加えて、行政改革の嵐など自らの財政もかつてないほど苦しい状況にあります。しかし目標とする五つの柱の達成に市民の創造性を結集し、市の不況克服にできる限りのお手伝いをさせていただきますと存じます。

十二月十六日「広報おおだて」は休刊になりますのでこの一年間のご指導、ご協力に衷心よりお礼を申し上げますと共に、どうぞよいお正月をお迎えくださいと、ご祈念申し上げます。

留山 健治郎

多くの期待と不安の中で迎えた今年も、残すところあと一カ月。この一年を大胆率直に評価し、反省するための月でありたいものです。

**市制施行三十周年事業に
ご協力ありがとうございました**

十一月三日の記念式典で記念事業のすべてを終えさせていただきました。春の花いっぱい運動に始まり、秋の花木の苗木配付事業まで、市政の目指す五つの柱にそってそれぞれ事業が行われました。

すなわち、産業都市大館に産業まつり、文化教育都市大館に野外ステージ、福祉都市大館に福祉都市指定事業、健康都市大館に保健センター「けんこう展」、健康マラソン、全県選抜中学野球大会、自然都市大館には花いっぱい運動と花木の苗木配付がそれぞれあります。

じゅうぶんとは言えませんが三十年の反省にたつた出発の年でありまして、今後には備えなければなりません。全事業が無事成功裡に終えられたことは、ひとえに全市民並びに関係者の深いご理解とご協力の賜であり、厚くお礼申し上げます。

市民参加の予算づくり

七月を皮切りに十月まで四カ月間四十カ所での対話の集い「市民と語る会」を、十一月には十六団体の方々と「市政懇談会」を開かせていただき、市政に対する市民、団体の意見、ご要望をたくさんお寄せいただきました。